

Rotary Club of AMA weekly report.



2022～2023年度
国際ロータリーテーマ
**IMAGINE
ROTARY**
イマジンロータリー



2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ
第2760地区ガバナー 笹橋 美久
会長 臼井 幹裕 副会長 後藤 裕一
幹事 大西 晃弘
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル
【公共イメージ向上委員会】
委員長 神戸 剛 副委員長 中澤 浩一
委員 船原 久尚・後藤 義美・稲垣 秀樹・黒野晃太郎・渡辺 均

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL (052)451-6617 FAX (052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

2023年 1月16日（曇り） 第2週 第2412回例会

Song ” 四つのテスト”

Attendance

会員	68名	欠席	13名	出席率	77.59%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 臼井幹裕 会長



皆さん、こんにちは。本日、年男・年女放談です。神田君、児玉君、谷口君の3名にお願いしました。後ほどよろしくお願ひします。また、会員の最長老は、水野君で、今年満99歳、数えて百歳になります。白寿おめでとうございします。失礼ながら生身の白寿の方と実際にお話したのは初めての体験です。私も還暦を迎えます。先日、同級生で集まることがあり、ある同級生は120歳まで生きると述べて、新しい事業を始めると意気軒昂でした。現天皇は60歳から天皇の地位につき、その務めを果たしていますので、還暦は新たなスタートと受け止めてよいのかも知れませんが。

さて、ロータリーは奉仕の団体ですが、臼井年度は、いよいよクラブ計画書で予定する社会奉仕、国際奉仕の活動の実践に進んで参ります。本日は、フードバンクへの食品の贈呈に出向いて参ります。食品の提供にご協力いただきました会員の皆様、ありがとうございます。

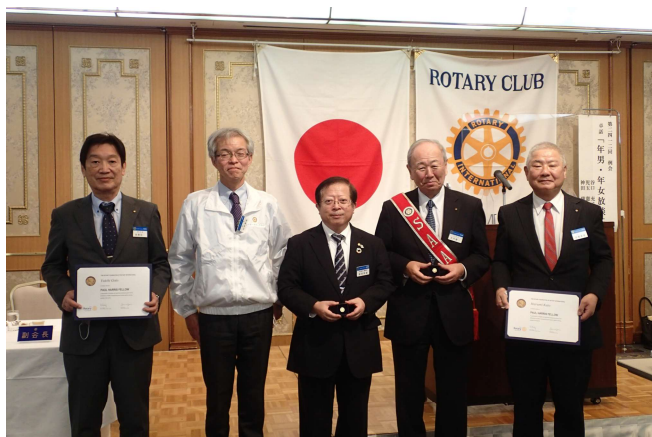
この「奉仕」という用語について、少し説明をさせていただきます。「奉仕」は、Serviceを訳したのですが、その訳は誤解を与えていると言われます。第2700地区廣畑富雄パストガバナーが出版された、「ロータリーの心と原点～Back To Basics 基本に返ろう～」という書籍から紹介いたします。「ロータリーは、サーヴィスという言葉をもっと広い意味に使っている。ビジネスの商取引や専門職（医療や弁護士の業務など）の場合にそうであるし、サーヴィスを受ける側のニーズや状況に気を配り、常に他の人に思いやりの心をもつことである。」と廣畑富雄先生は、手続き要覧の英文を示しつつ述べています。そして、クラブ・サーヴィスは、何も会長幹事が寝食を忘れてクラブに奉仕することを意味するのではなく、会員としてクラブのためになる行為、例会に出る、クラブの行事にできるだけ協力し出席する、クラブの事務局から行事案内が来て、それに早く、きちんと返事をして事務局の手を取らない、これらはクラブ・サーヴィスだと述べています。サーヴィスを受ける側へ思いやりを持ち、その役に立つ行為を「奉仕（サーヴィス）」と理解しているものです。新会員のお二人の理解を助ける思いで、「奉仕」の話を致しました。会長挨拶は以上です。

Today	1月23日（第2413回）
担当	黒川元則 プログラム委員長
演題	卓話「名妓連について」 名妓連芸妓 早紀氏
Next Week	1月30日（第2414回）
担当	臼井幹裕 会長
演題	クラブアッセンブリー 委員会中間報告

Secretary Report

大西晃弘 幹事

- 1 大西晃弘君に第1回米山功労者感謝状が参りました。
- 2 家田安啓君に第2回米山功労者感謝状が参りました。
- 3 河村昭利君に第1回米山功労者感謝状が参りました。
- 4 神野恭寿君に第1回米山功労者感謝状が参りました。
- 5 加藤文彦君に第1回米山功労者感謝状が参りました。
- 6 大竹敬一君に第4回米山功労者感謝状、第5回MPHFピンが参りました。
- 7 後藤裕一君に第1回米山功労者感謝状、PHFピンが参りました。
- 8 稲垣秀樹君に第1回米山功労者感謝状、第2回MPHFピンが参りました。
- 9 加藤春視君に第1回米山功労者感謝状、PHFピンが参りました。



ニ コ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

臼井幹裕 会長

谷口委員長はじめ社会奉仕委員会の皆様、お疲れ様です。フードバンクにご協力有難うございます。

後藤裕一 副会長

年男・年女放談楽しみです。谷口君、児玉君、神田君、よろしくお願いします。

大西晃弘 幹事

年男・年女放談楽しみにしております。

栗木和夫君

年末家族会では、今回も沢山サンタさんよりプレゼントをいただき、家族皆感謝しております。有難うございました。

水野 眞君

白寿祝のシャンペンをいただいて、人間長生きもいいものです。有難う。

酒井和雄君

八坂神社「提灯祭り」ご協賛会社様。東海缶詰（株）古川君、社会福祉法人貴徳会青本君、ニシカワヤ（株）西川君、八坂神社のご加護をいただかれ、ますますのご発展を申し上げます。

戦時中疎開していた滋賀県甲賀市甲南町旅行の帰りに、近江八景、晚鐘の三井寺の鐘を打つ。美しい音色1打800円。

谷口充子君

本日は多くの方に社会奉仕委員会の食品寄贈にご協力頂きました。謹んで御礼申し上げます。

年男・年女放談もよろしくお願いいたします。

加藤春視君

年男・年女放談のお話楽しみです。

谷口君、フードバンク寄付、沢山集まってよかったです。

加藤憲治君

新年早々、女房が脚を骨折し、女房の大変さを実感しています。

本年喜寿を迎えます。

青本道春君

食べるものに困っている人に、あまRCが食品を集めて奉仕する企画に賛同しました。早速自宅で食品を探しました。なんと我が家の余った食べるものの多さにびっくり。困っている人達に申し訳なく思う事と、幼い頃、日本中多くの人が食べ物に困っている時代を思い出しました。

家田安啓君

水野君、白寿おめでとうございます。

大竹敬一君

フードバンク寄付事業、お疲れ様です。

稲垣秀樹君

コーラス部新年会で、黒川君美味しい料理を有難う。

板津和博君

ニコボックス委員の皆様、ご苦労様です。

伊藤英毅君

新年のコーラス部の食事会、とっても楽しかった。有難うございました。

北野庸夫君

元あまRCの会員の山田幸治さんの葬儀に参列出来ました。ご冥福をお祈りいたします。

児玉憲之君

本日、年男・年女放談で卓話させていただきます。よろしくお願いします。

黒野晃太郎君

社会奉仕委員会の皆様、ご苦労様です。

中澤浩一君

年度末慌ただしく、例会にあまり出れなくて申し訳ありません。年男・年女放談楽しみです。

小倉廣三君

年男・年女放談、神田君、児玉君、谷口君、よろしくお願いいたします。

寺澤正樹君

谷口君、フードバンクお疲れ様です。素晴らしい行いだと思います。

山田朝子君

日曜に1時間ウォーキングをしました。

山田幹夫君

持ちよりの食品、賞味期限切れが多くて沢山持って来れませんでした。でも今回、日頃食べていた物が殆ど賞味期限切れであった事を発見しました。でも健康には全く問題ありません。

山本輝幸君

まだまだ寒い日が続きます。間もなく節分ですネ！福を呼ぶ四季特製恵方巻、限定200本。ぜひどうぞ！

横井久雄君

社会奉仕事業、沢山の寄付、有難うございました。

合 計 82,000円

年 男 ・ 年 女 放 談

「卯年年女放談」

谷口充子君



年女放談をさせて頂くにあたって、改めて2023年・卯年とはどのような年なのかを調べてみました。今回、60年でひと回りする六十干支のことを詳しく知ることができました。

干支は、順序や番号を表す10種の漢字（十干）と、天空を12年で一周する木星の方角を示すために用いられた12の動物（十二支）の組み合わせです。十二支に動物の意味はありませんでしたが、覚えやすいように身近な動物が割

り当てられたと言われています。10x12で120の干支があると思ったのですが、実際に可能な組み合わせは60通りしかありません。六十干支とも呼ばれ、一巡すると還暦となります。

六十干支では2023年は癸卯（みずのとう）の年です。「癸」は雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。十干の最後にあたる癸は、生命の終わりとともに、新たな生命が成長し始めている状態も意味していると言われています（出典1）。

干支で言う「うさぎ」には一般的な「兎」ではなく「卯（う、ぼう）」が当てられています。「卯」という字は左右に開く門の形に由来し、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるとされています。また、祭りごとの際に生贄として捧げる肉を2つに裂いた形からできたとされ「分ける（区切る）」という意味をもつ説もあるそうです（出典2）。このように「とび出る」や「分ける」という意味から、卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われたりします。実際に、過去の卯年にあった主な出来事はどうだったでしょう。

1879年 明治12年（己卯・つちのとう）

- ・琉球藩廃止・沖縄県設置（琉球処分）
- ・エジソンが白熱電球を発明
- ・米最高裁で初の女性判事が任命

1891年 明治24年（辛卯・かのとう）

- ・スタンフォード大学創立
- ・ジェームズ・ネイスミスが考案したバスケットボールの試合が初めて行われる。
- ・エジソンが電氣的な信号伝送（ラジオ）に関する米国特許を取得

1903年 明治36年（癸卯・みずのとう）

- ・ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功

1915年 大正4年（乙卯・きのとう）

- ・第一次世界大戦（前年に勃発）にイタリアが連合国軍として参戦
- ・大正天皇の即位礼

1927年 昭和2年（丁卯・ひのとう）

- ・昭和金融恐慌（1929年世界恐慌）
- ・健康保険法施行・給付開始
- ・孫文死去 以後蒋介石が中国国民党の指導者になる
- ・大正天皇大喪

1939年 昭和14年（己卯・つちのとう）

- ・NHKが有線によるテレビ実験放送を公開

- ・日本で国民徴用令公布

- ・第二次世界大戦勃発

1951年 昭和26年（辛卯・かのとう）

- ・サンフランシスコ平和条約・日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約締結
- ・リビアがイタリアから独立

1963年 昭和38年（癸卯・みずのとう）

- ・日本国産連続30分テレビアニメ第1号『鉄腕アトム』放映開始

- ・日清食品が「日清焼そば」を発売

- ・ニセ札防止のため新千円札（伊藤博文の肖像）発行

- ・ソ連、世界初の女性宇宙飛行士誕生

- ・ケネディ米大統領暗殺

1975年 昭和50年（乙卯・きのとう）

- ・まんが名作劇場サザエさん放送開始
- ・マイクロソフト設立
- ・サイゴン陥落によりベトナム戦争終結

1987年 昭和62年（丁卯・ひのとう）

- ・世界の人口が50億人突破
- ・ニューヨーク株式市場が大暴落（ブラックマンデー）、世界同時株安に陥る

1999年 平成11年（己卯・つちのとう）

- ・ユーロが銀行間取引などの通貨として導入
- ・アムステルダム条約発効
- ・茨城県東海村の核燃料施設JCOで日本初の臨界事故
- ・マカオがポルトガルから中国に返還
- ・ロシアのエリツィン大統領が辞任、代行にプーチン首相を指名
- ・パナマ運河、アメリカ合衆国からパナマに返還

2011年 平成23年（辛卯・かのとう）

- ・エジプト危機、事実上の無政府状態に
- ・東日本大震災
- ・東京電力福島第一原発事故の国際評価をレベル7に引き上げ
- ・国際テロ組織アル・カーイダの最高指導者ウサマ・ビンラディンが米諜報機関に殺害
- ・地上デジタルテレビ放送へ全面移行
- ・歴史的円高、一時1ドル＝75円32銭

このようにざっと歴史を見ると、卯年は世界的な政治の混乱や経済の混乱等が多いように感じましたが、既存のシステムの崩壊と新時代への幕開けとも捉えられるのではないかと思います。皆さんにとっても、この2023年が新時代への飛躍の年となることを祈りつつ、私の放談とさせて頂きます。

出典

(1) https://www.iyoirc.jp/wp-content/uploads/2022/11/38-41_TOPICS.pdf

(2) <https://nengajo.iimono-labo.jp/information/5645/>

「還暦60歳」

児玉憲之君



「年男・年女放談」に加藤文彦親睦活動委員長にお声かけ頂き、大変光栄に感じます。私が入会した後は、多くの新会員を迎えておりますので、私の自己紹介からまずは始めさせていただきます。

私は今から15年前、平成20年11月10日に入会させて頂きました児玉憲之と申します。今年令和5年1月10日の誕生日を迎えまして、満60歳となりました。職業分類は、不動産管理です。15年前の初めての「年男・年女」放談の例会では、「還暦なんてまだまだ先の話だし、自分には関係ないなあ！」と思っておりました。実際、今年で還暦を迎えて「もうオッサンだ！」としみじみ感じるところです。人生100年時代と言われています。還暦は、人生60年時代の36歳ですのでそう考えると「まだまだ若いな！」とも取れます。

今年還暦を迎える有名人をご紹介します。お笑い界では、1990年代以降トップランナーとして君臨しているダウンタウンの浜田雅功さんと松本人志さん、俳優人では、2002年のNHK大河「利家とまつ〜加賀百万石物語」の唐沢寿明さんも還暦です。歌手では、「PRIDE」「Goodbye yesterday」などのヒット曲で知られる今井美樹さん、フリーアナウンサーの宮根誠司さんも還暦です。海外では、西洋では還暦は馴染みが薄いかもしれませんが、映画スタ

ーのブラット・ピットさんやジョニー・デップさんも、そしてスポーツ界では、1990年代にバスケットボールNBAのシカゴ・ブルズを2度3連覇に導いたバスケの神様マイケル・ジョーダンも還暦です。

私にとって還暦の思い出は、今から25年前の1998年1月23日に開催された「全日本プロレス後楽園ホールジャイアント馬場還暦記念試合」です。「赤いちゃんちゃんこ」と「オレンジのショートパンツ」を身にまとい、試合終了後に「俺が若い時は、60歳ってすごい年寄りだと思っていたが、いざ自分が60歳になってみると、大した事ねえなあ！」って発言して、会場から割れんばかりの拍手喝さいを浴びていたのを思い出します。その時、私は馬場さんの発言を全然理解できませんでしたが、60歳になってみるとようやく理解できるようになったのかな？って思います。「60歳か！なんか凄いな、車では60年ともたないと思うし、ジャイアント馬場さんも還暦の翌年に亡くられていますし、去年はアントニオ猪木さんが亡くなり、私にもお迎えがそのうちに来るのかな？」とどこかで意識しなければいけないと思います。身体はまだ何とも悪くはないのだけれども、何があってもおかしくない年齢になったことだけは認めないといけないと思います。そう考えると「あまロータリークラブ」は来年55歳、さらに5年後には還暦を迎えます。これも私的には「凄いことだな！」って思います。次年度の加藤春視年度では、「クラブ奉仕委員長」を拝命いたします。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げますと同時に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、「年男・年女放談」を閉めさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

「雑感（世相の移り変わり）」

神田康史君



1. はじめに

「RC一員（ロータリアン）として依頼を受けた際の回答は、“YES”か“はい”しかない。」と諸先輩より教えられていますので、素直にお引受致しました。テーマについては問わない…という事なので、私の生まれた時代と1951年頃の世相等から、現在との比較や自分の職業、市議会議員3期目と社会保険労務士40年の立場からご意見を申し上げたいと思います。

まず、私は1951年8月30日生であります。卯年おとめ座であります。卯年をいうとS2年生96歳、S14年生84歳、S26年生72歳、S38年生60歳、S50年生48歳、S62年生36歳、平成11年生24歳、平成23年生12歳、令和5年生0歳、となります。（私の父親は大正5年5月24日生まれの為、今年97歳で存命であります。）

2. 1951年当時の世相

当時の日本の人口は、8454.1万人（男4148.9万人、女4305.2万人）1951年生まれの人口171万人です。ちなみに1963年生まれは157万人、1975年生まれは186万人です。また、当時（S26年1月3日）第1回NHK紅白歌合戦が放送され、今は年末大晦日に実施されていますが、以降恒例となりました。更に朝鮮動乱戦争（1950年6月25日～1953年7月27日）がぼっ発しました。（6月28日ソウルが占領された）北朝鮮、中国軍が38度線を突破、南下して国連軍がソウルから撤退。ソウルはたった3日間で北朝鮮・中国の連合軍に占拠され、韓国政府は釜山へ移転したそうです。国連軍（実態は米軍）は反撃開始し、ソウルを再奪回し、38度線を突破、北進するもその後膠着状態となり、停戦協定締結となったそうです。終戦直後の日本も、朝鮮特需により経済の回復が急激に進んだとの見方があります。話を戻して日本の現状は？と言えば、人口問題に関し、2019年出生数は86万4千人（初めての90万人割）2021年6月4日発表の人口問題研究所資料では2020年の出生数は、84万832人合計特殊出生率は1.11です。通常2.07以上でなければ日本の人口維持は不可と言われます。今後も人口減少が続くと推測されます。ところで私たちより少し上の人々を団塊の世代（S22～25年生）と言います。特に1949年（S24年）生まれの方々は269万人で最大であり、当時の合計特殊出生率は4.32であったと言います。子どもが4～5人の家族は当たり前の光景でした。団塊ジュニア世代（1971～1974年（S46～49）生…

現在49歳～52歳）の人々は概ね200～210万人となりますが、それも4年足らずでまた厳しい人口減少となる模様です。人口減少→経済力の低下→国際的地位の低下等の負の連鎖の懸念があります。ここで社労士として、社会保障制度（年金、医療、介護）の面から特に年金について若干触れてみたいと思います。年金はそれぞれの歴史の中で成り立ち、最終的には共済（3階建て）・厚生年金（2階建て）・国民年金（1階建て）に統合されてきました。元々年金は積立方式でしたが、いつの頃からか賦課方式に変わりました。賦課方式とは「現役世代の保険料（掛け金）が現在の高齢で年金受給世代に回る（支払う）」といった世代間扶養方式です。掛け金もどんどん上がってきました。但し、厚生年金は上限183.0/1000であり、現在は固定されています。国民年金は16590円/月となっています。（R4.4～R5.3まで） $16590 \times 480 \text{ヶ月} \div 780,000 = 10.20$ 年（ $7963200 \div 780000 = 10.20$ ）※480ヶ月は、20歳から60歳までの40年間を意味します。（フルペンション制のため）65歳からの受給を考えると75.20歳まで生きなければ元は取ません。どうぞ長生きをしてください。

ところで「JAPAN AS NO.1」（エズラ・ヴォーゲル著）と言われた時代。1979年の著作物。そう！！バブル景気突入の少し前の時代です。日本の高度成長期（エコノミック・アニマル、三共リゲイン：24時間戦えますか）のフレーズを覚えてみえますか？バブル景気は、1986～1991年（S61～H3）でした。その間に1989年（H1）消費税導入され、（竹下登内閣時）3%→5%→8%→10%と推移しました。「JAPAN AS NO.1」の背景は、高度成長期で目覚ましく発展中の日本（日本的な経営や日本人の勤勉さ）を1980年代経済が落ち込んでいた米は、学ぶ対象として見ていた、ということです。「夢よもう一度」と私は今も思っています。まさしく「JAPAN AGAIN」です。また、私はこのようにも思っております。

年寄りはいつか行く道、子どもたちはいつか来た道
あまり口出しをせずに、後進に道を譲り、謙虚に謙虚にひっそり生きましょう、と。